

## 「かんぼの郷庄原」の取得について

### 1. 趣旨

日本郵政㈱から本市に対し、「かんぼの郷庄原」の施設譲渡について打診があり、経過等を報告するとともに、取得の可否について協議を行うものである。

なお、日本郵政㈱は施設を譲渡する際、第一に地元自治体に打診し、取得の意思がない場合は広く売却先を公募するとしている。

### 2. 背景

日本郵政㈱は経営改善に向け、全国53箇所にあるかんぼの宿等のうち、今年度末までに15施設を廃止するとともに、今後も宿泊事業での早期の黒字化を実現するため、損益等の回復が見込めず、コスト回収が困難な施設については配置見直しを行っている。

本市における「かんぼの郷庄原」の整備経緯は、平成3年、現在の上野総合公園一帯の開発について旧庄原市において「ふるさと創生1億円事業」を活用し、温泉掘削の実施とともに総合公園の整備を計画していたことに起因する。

高速道路を含む交通の利便性や平成7年4月の国営備北丘陵公園の一部開園を控え、潤いのある個性豊かな地域づくりを目指し「簡易保険福祉施設」の誘致を行い、平成5年11月、「簡易保険総合レクリエーションセンター」の設置が決定した。

平成13年4月オープンの「かんぼの郷庄原」は、庄原市街地において最も大きな宿泊施設であり、特に観光振興における役割は大きく、観光、宿泊、会議・宴会などの拠点であり、庄原市における観光客、観光消費による地域経済のみならず、市民生活においても関わりの深い施設である。

### 3. 経過

- ◆平成13(2001)年4月 施設オープン
- ◆平成15(2003)年度をピークに日帰り利用者及び宿泊者ともに減少に転じる
- ◆平成19(2007)年10月 郵政民営化に伴い、日本郵政㈱へ継承
- ◆令和元年(2019)5月 かんぼの宿の配置の見直しによって12施設の廃止発表
- ◆ " 9月 さらに3施設の廃止発表
- ◆ " 11月 日本郵政㈱より市へかんぼの郷庄原の譲渡について打診

### 4. 施設概要

- (1) 土地 新庄町字和田原281番1外58筆 約158,500㎡
- (2) 建物 ホテル 鉄骨鉄筋コンクリート造7階建 9,804.04㎡  
倉庫 鉄筋コンクリート造平屋建2棟 42.75㎡、5.00㎡  
店舗 鉄骨造平屋建 120.88㎡  
住宅 木造平屋建2棟 55.53㎡、55.53㎡
- (3) 客室 和室42室(収容人数166人)、洋室20室(収容人数34人)
- (4) その他 温泉権、温泉管施設

### 5. かんぼの郷庄原の利用者数の状況

	平成13(2001)年度	平成15(2003)年度	平成22(2010)年度	平成30(2018)年度
宿泊利用者	46,843人	50,149人	40,949人	35,664人
日帰利用者	146,773人	194,135人	144,128人	88,218人